

理事長挨拶

本財団は、1973年の発足以来、有為な人材を育成し高い水準の研究調査を盛んにすることを目的に奨学事業や、研究調査助成事業を行っております。

奨学事業は、給付型であることや卒業(修了)後の進路が自由であることを特色としており、若い研究者を中心とした研究調査助成や出版助成と併せて、社会貢献の一翼を担っているものと自負しております。

今まさに羽ばたこうとしている将来有望な若者を支える存在であり続けることが、本財団に課せられた社会的使命でもあります。

2017年度は60名の新規奨学生を迎え、寄附をいただいた方をはじ



理事長 稲野 和利

め多くの財団関係者にご出席いただき、授与式や、全国の奨学生164名全員が参加する懇談会や 同友会員による懇親会を開催しました。

そのほかに、現役奨学生と修了者、大学関係者と財団との交流を目的とした「集い」を早稲田 大学で開催したことに大きな手応えを感じております。今後も各大学との「集い」を実施して参 ります。

そしてこの3月、奨学生修了式を開催し、57名の修了者を送り出しました。修了者諸君がこれまでの研鑽の成果を発揮し社会のために各方面で活躍されることを期待しています。

また、研究調査助成事業では、証券金融経済分野における研究調査や出版への助成を行っており、本年度も多数の研究者から応募がありました。

低金利が続く環境下、財団の運営は厳しいものとなっておりますが、社会的意義を有する本財 団をしっかり継承して参ります。

今後とも、何卒本財団の奨学事業及び研究調査助成事業にご理解ご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

がんばれ!がんばれ! 奨学生諸君!



2017年度

2018年3月9日(金) 千代田区一ツ橋「如水会館」

2017年度の奨学生修了式は、2018年3月9日(金) 東京都千代田区一ツ橋の如水会館において挙行されました。 奨学生を修了された57名の皆さん、おめでとうございます。ご来賓として、推薦大学の副学長や学生部長の方々、本 財団役員、評議員、選考委員、証券奨学同友会幹事、ご寄附をいただいた証券業界の方々など、多数のご臨席を賜りました。 本年度の修了式は、1975年の第1回から数えて43回目にあたり、修了者は総勢3,597名となりました。

日 時 2018年3月9日(金)午後3時 会場 東京 千代田区一ツ橋 如水会館 次 第 ■ 開 式 一. 挨 拶 一. 挨 拶 佐々木 正 峰 一. 奨学生修了証書及び記念品授与 東京工業大学 一. 祝 辞 丸 山 俊 夫 理事・副学長 証券奨学同友会 一. 祝辞 髙 田 とし子 代 表 幹 事 一. 謝 辞 奨 学 生 代 表 筑波大学大学院 白 岩 伸 也 博 士 課 程 (敬称略) ■閉 式 引き続き懇親会 以 上





































2017年度大学別修了者数

	:	修了				
北	海	ì	道	大	学	2
東	4	Ł	大	-	学	3
筑	i).	支	大	-	学	1
東	5	ž	大	-	学	2
東	京	I	業	大	学	2
おき	茶の	水	女-	子大	学	2
_	材	奇	大	-	学	1
首	都	大	学	東	京	1
慶	應	義	塾	大	学	1
上	돹	=	大	-	学	2
中	身	Ą	大	-	学	1
日	4	本		-	学	2
法	E	政		-	学	2
明	泸	5	大		学	2
立	孝	攵	大	-	学	3
早	稲	В	8	大	学	1

	大	修了			
横	浜 匤	立	大	学	1
新	潟	大	:	学	2
名	古	屋 :	大	学	2
名	古 屋	市立	大	学	1
京	都	大	:	学	2
同	志	社 :	大	学	2
立	命	館:	大	学	6
大	阪	大	:	学	3
大	阪市	立	大	学	2
関	西	大		学	1
関	西学	院	大	学	3
神	戸	大	:	学	1
広	島	大		学	1
九	州	大		学	2
	総		57		

2017年度奨学生修了者の就職・進学の状況

2017年及人了工修了日初规划。							
区分	大学 博士 課程	院生 修士 課程	大学生	合計	備考		
	名	名	名	名			
1. 就職	2	8	27	37			
(内訳)							
一般企業		6	17	23			
教育・ 研究機関	1	1		2			
公務員			9	9	「国家公務員 3名 し地方公務員 6名		
その他	1	1	1	3			
2. 進学		3	8	11	〔同大学大学院 10名 〔他大学大学院 2名		
3. その他	1	2	6	9			
計	3	13	41	57			

※「3. その他」は、在学者及び進路未定者である。

「大学事務局との連絡会」

奨学生修了式の式典に先立ち、午後2時30分より「大学事務局との連絡会」が開催されました。

同連絡会は、大学の副学長をはじめとする奨 学担当者の皆様にご参加いただき、2018年度の 「奨学生募集要項」、「推薦に当たっての注意 事項」、「奨学生願書」の内容説明をしました。







2017年度 奨学生懇談会

「奨学生懇談会」は、大学・学部・専攻・年次を異にする奨学生相互の交流・親睦を図るため、東京と大阪の2会場において開催しているものです。

東京会場は、東京近郊の15大学に、北海道大学、東北大学、新潟大学の3大学を加えた18大学で、大阪会場は、京阪神の8大学に、名古屋大学、名古屋市立大学、広島大学、九州大学の4大学を加えた12大学で開催しました。

◇奨学生懇談会(東京会場)

2017年11月10日(金)午後6時から、東京証券会館8階ホールにおいて開催いた しました。出席者は奨学生89名、同友会員20名、大学関係者15名、財団関係者11 名の総勢135名でした。

講師には、日本証券経済研究所理事兼特任研究員であり、本財団理事兼研究 調査助成選定委員会委員長でもある佐賀卓雄先生をお迎えし、「シリコンバレーと スタンフォード大学 -ITクラスターの生成・発展と産学連携-」というテーマで講 演いただきました。

何故シリコンバレーがシリコンバレーたりえたのか、スタンフォード大学が果た した役割とは何か、そこに登場する人物同士の生き生きとしたやりとりを通して解 説いただきました。

また、シリコンバレーで行われた起業を支えたファイナンス・メカニズムの事例の 紹介やイノベーションの動向への見解、そして人材の育成とその才能を見抜く「目 利き」の存在が不可欠であるとの熱い想いを伺いました。





◇奨学生懇談会(大阪会場)

2017年11月17日(金)午後6時から、新大阪駅近くのホテルメルパルク大阪の5階会場において開催いたしました。出席者は奨学生66名、同友会員14名、大学関係者11名、財団関係者6名の総勢97名でした。

本財団の修了者でもある大阪大学大学院理学研究科宇宙地球科学専攻教授の佐々木晶先生(東京大学奨学生1984年修士・1987年博士)より「日本の太陽系探査:はやぶさ、かぐや、あかつき、はやぶさ2。。。」というテーマで講演いただきました。その概要は以下のようなものでありました。

小学5年生の頃にアポロ11号の「月の石」を何度も大阪万博に見にいき「わくわく」し、アリゾナ大学での研究が「はやぶさ」や「かぐや」の計画に関わることにつながったとのお話がありました。また、多数の写真や資料を使い各探査機の概要と成果について平易に教えていただきました。自分が「アポロジュニア」であったように、自らの研究成果によって子供たちが宇宙に興味を持つことを期待するという夢の膨らむお話をいただきました。





なお、懇談会配布資料等は、本財団ホームページの専用サイトにて、閲覧できます。

URL: http://www.jssf.or.jp

奨学生と証券奨学同友会員との懇親会

「奨学生と証券奨学同友会員との懇親会」は、「奨学生懇談会」に引き続き、東京及び大阪の2会場において 開催いたしました。この懇親会は、奨学生、証券奨学同友会員、大学担当者、あるいは財団関係者との交流・親睦 をはかることを目的としたものです。

東京会場、大阪会場とも、最初に稲野理事長から挨拶をいただき、高田同友会代表幹事の挨拶、乾杯で始まりました。両会場とも軽妙あるいは落ち着いた司会振りで会場は盛り上がり、途中大学毎の写真撮影を挟み、会話も弾み大いに親睦が深まりました。熱気を帯びるなか、閉会のお時間となり、東京会場では高田様(東京工業大学・2016年修了)より、大阪会場では西垣内同友会関西地区幹事より、中締めをしていただきました。皆さん名残を惜しみながらも、再会の日を楽しみにされつつ会場を後にされました。































2017年度(第44回)

2017年7月14日(金) 千代田区一ツ橋「如水会館」

2017年度の奨学金授与式は、2017年7月14日(金) 東京 都千代田区一ツ橋の如水会館において挙行されました。本年 度採用された奨学生は、30大学の奨学生60名の皆さんです。 おめでとうございます。

来賓として学生部長および奨学担当者、本財団役員、奨学 生の選考に当たられた奨学生選考委員の先生、ご寄附をいた だいた証券業界の方々にもご臨席賜りました。

本年度の奨学金授与式は1974年度の第1回から数えて44 回目となり、本年度採用の奨学生を含めた採用奨学生の総数 は3,755名に達しています。









日 時 2017年7月14日(金)午後3時 会場 東京 千代田区一ツ橋 如水会館

■開 式

一. 挨 拶 稲 野 和 利

奨学生選考委員会委員 一. 挨 拶 法政大学副学長

瀬克哉

一. 奨学生証書授与

東京大学 一. 祝 辞 本部奨学厚生課長

中尾ゆかり

-. 謝 辞

奨 学 生 代 表 北海道大学大学院 博 士 課 程

石 井 裕 人

(敬称略)

■閉 式

引き続き懇親会

以上

2017年度大学別採用者数

		採用					
北	海	ij	首	大	学	3	
東	7	Ł	大	-	学	1	
筑	ì	女	大	-	学	2	
東	5	į.	大	_	学	2	
東	京	I	業	大	学	2	
お	茶の	水	女-	子大	学	1	
_	₹	奇	大	-	学	1	
首	都	大	学	東	京	1	
慶	應	義	塾	大	学	3	
上	を	=	大	-	学	2	
中	5	f	大	-	学	3	
日	Z	Ż	大	-	学	2	
法	Ę	攵	大	-	学	1	
明	Ä	<u> </u>	大	-	学	3	
立	孝	攵	大		学	2	
早	稲	Е	8	大	学	1	

	大	採用		
横	浜 国	立大	、学	2
新	潟	大	学	3
名	古	量 大	学	2
名	古屋市	市立っ	ト学	2
京	都	大	学	3
同	志	社 大	学	2
<u>1</u>	命(館大	学	3
大	阪	大	学	3
大	阪市	立大	、学	2
関	西	大	学	2
関	西学	院大	、学	1
神	戸	大	学	2
広	島	大	学	2
九	州	大	学	0
	総(59		











「奨学生推薦大学連絡会」

奨学金授与式の式典に先立ち、午後2時より「推薦大学連絡会」が開催されました。

奨学生選考委員会委員長及び委員により大学の関係者に対する当年度の奨学生選考の経緯等の説明を行い、相互の意見交換を行いました。この連絡会は、資質優秀な学生の推薦を大学の関係者にお願いするとともに、奨学生への支援に関し連携をはかることを目的として開催しているものです。

本年度も大学の学生部長をはじめとする奨学担当者の皆様にご参加いただき、活発な意見交換が行われました。











2016年度

2017年3月10日(金) 千代田区一ツ橋「如水会館」

2016年度の奨学生修了式は、2017年3月10日(金) 東京都千代田区一ツ橋の如水会館において挙行されました。 奨学生を修了された57名の皆さん、おめでとうございます。ご来賓として、推薦大学の副学長や学生部長の方々、本 財団役員、評議員、選考委員、証券奨学同友会幹事、ご寄附をいただいた証券業界の方々等、多数のご臨席を賜りました。 本年度の修了式は、1975年の第1回から数えて42回目にあたり、修了者は総勢3,540名となりました。





日 時 2017年3月10日(金)午後3時 会場 東京 千代田区一ツ橋 如水会館

■ 開 式

一. 挨 拶

一. 挨 拶 佐々木 正峰

一. 奨学生修了証書及び記念品授与

玉川信一 一. 祝辞

証券奨学同友会 -. 祝 辞 髙 田 とし子 代 表 幹 事

奨学生修了者代表 永 岩 慧 子 広島大学大学院博士課程

■閉 式

引き続き懇親会

以上

(敬称略)

































2016年度大学別修了者数

	7	大学		修了						
北	海	違	Í	大	学	2				
東	北	S	大	-	学	1				
筑	波	ž	大	-	学	1				
東	京	Ţ	大	-	学	1				
東	京:	I	業	大	学	3				
おき	茶の	水	女-	子大	学	0				
_	梧	ř.	大	-	学	1				
首	都:	大	学	東	京	1				
慶	應	義	塾	大	学	2				
上	智	7	大	大 学		3				
中	央	Ļ	大	-	学	3				
日	本	Ξ.	大	-	学	1				
法	达 政		法 政		政大		大		学	1
明	治	ì	大		学	2				
立	教	ζ	大	-	学	2				
早	稲	H	3	大	学	3				

	大	修了		
横	浜 国	立大	学	2
新	潟	大	学	3
名	古月	量 大	学	3
名	古屋「	市立大	学	2
京	都	大	学	2
同	志	士大	学	1
立	命(馆 大	学	3
大	阪	大	学	1
大	阪市	立 大	学	2
関	西	大	学	2
関	西学	院大	学	2
神	戸	大	学	2
広	島	大	学	1
九	州	大	学	0
	総合	53		

2016年度奨学生修了者の就職・進学の状況

	大学	院生			
区分	博士 課程	修士 課程	大学生	合計	備考
	名	名	名	名	
1. 就職	3	5	29	37	
一般企業		4	17	21	「日本取引所グループ SMBC 日興証券 (㈱日本総合研究所
教育・ 研究機関	3			3	「日本学術振興会研究員 {北九州市立大学 名古屋経済大学
公務員			11	11	国家公務員 5名 地方公務員 5名 国際協力機構
その他		1	1	2	「株式会社 HARP(第三セ) {福井県経済農業協同組合 [連合会
2. 進学			9	9	[同大学院 5名 【他大学院 4名
3. その他	1	7	3	11	
計	4	12	41	57	

※「3. その他」は、オーバードクター等在学者及び進路未定者である

証券奨学同友会の活動

本財団の奨学生修了者で組織する「証券奨学同友会」は、会員相互間の親睦・ 協調をはかることを目的に活動しております 証券奨学同友会報2017

1 機関紙の発行

年1回発行している機関紙「証券奨学同友会報」は、関西地区が編集を担当し、2017年9月に第43号を発行いたしました。同友会員からの寄稿や総会・懇親会の報告のほか、稲野理事長および入木常務理事から就任のご挨拶をいただきましたので、ぜひご覧ください。



2 証券奨学同友会総会

2017年度の証券奨学同友会総会は、11月20日(金) と27日(金) に、関東地区は東京証券会館において、また関西地区はホテルメルパルク大阪において開催しました。

関東地区は会員20名、関西地区は会員13名の参加があり、財団理事長は じめ財団関係者を招き、それぞれ午後6時50分より開催しました。いずれも 最初に髙田とし子代表幹事から挨拶があり、それぞれ本多一徳関東地区幹事、 西垣内琢也関西地区幹事から、活動報告及び次期幹事選出の説明があり、両 会ともに、全会一致で承認されました。

また、懇親会では、久しぶりに再会した会員同士と喜び合い、財団関係者 や顔見知りになった奨学生や大学関係者と楽しいひとときを過ごすことがで きました。







2017 年奨学生同友会関東地区総会



2017 年奨学生同友会関西地区総会

3 財団への寄附

証券奨学同友会では、学生時代に温かい支援をくださった財団への感謝の気持ちを伝える機会のひとつとして、今年度も懇親会に出席くださる会員に呼びかけて、財団の奨学金事業支援のための寄附金の募集を行いました。その結果、総勢40名の皆様より総額222,000円の寄附金が集まり、これを財団に寄附いたしました。

証券奨学生の集い(早稲田大学)

2017年度の証券奨学生の集いは、2017年12月5日(金)に早稲田大学において、大学関係者の皆様のご支援ご協力をいただき開催いたしました。

現役奨学生3名、同友会員6名、大学関係者3名、財団関係者3名、総勢15名の参加を得て、各分野で活躍する同友会員と奨学生との親睦が深まり、話し足りないほどに盛り上がりました。皆さんの大学毎という、アットホームな雰囲気の中、これからも是非続けていきたいという参加者の気持ちが一つになりました。今後も、各地で随時開催予定ですので、多数のご参加をお待ちしております。ホームページで、過去の開催や、今後の予定について、ぜひチェックしてください。

ホームページ利用のお願い 皆様の訪問をお待ちしております!

本財団は、今後とも皆様にホームページを訪問をしていただけますよう、内容の充実に努めて参ります。

また、証券奨学同友会員と奨学生等の交流・懇親の促進を目指した専用サイトを設けておりますので、ご利用をお待ちしております。

「MY メッセージ」に以下の皆様からご寄稿を賜っております。2018 年度におきましても引き続きご寄稿を募集しておりますので、財団事務局までご連絡いただきますようお願いいたします。

一般サイト TOP



寄稿者のお名前

山中 伸弥 様 京都大学 iPS 細胞研究所

<u>所長・教授</u> **隈 研吾** 様

東京大学大学院·教授 稲野 和利 様 日本証券奨学財団 理事長

(日本証券業協会前会長) **前 哲夫** 様 大和証券株式会社 顧問

西 美奈 様 証券奨学同友会員

専用サイト TOP



ログインID、パスワードをお忘れの場合は、事務局まで ご連絡下さい。

TEL: 03-3664-7113 E-mail: jssf.office@jssf.or.jp

URL: http://www.jssf.or.jp



2017年度 研究調査助成・研究出版助成

2017年度の研究調査助成は、10件、9.986.717円を給付いたしました。また、研究出版助成は、4件、3.500.000 円の給付を決定いたしました。

◇2017年度研究調査助成

2017年度の研究調査助成は、助成金募集総額10.000.000円 として、証券金融経済分野(証券、金融、財務・会計、企業・ 経営、法律、経済、社会)の研究調査に対し助成すること とし、2017年4月から6月末まで募集を行い、その結果、21 大学から22件、研究所から1件、申請金額21.400.000円の応 募がありました。

同年8月7日付で、10件、助成金額9.986.717万円の助成金 受給者を決定し、給付いたしました。

2017年8月7日決定

研究代表者	研究調査課題	研究形態	助成金額
明 治 大 学 商 学 部 浅 井 義 裕 准 教 授	中小企業におけるデリバティブ利用の決定要因に関する実証分析	個人	1,000,000
関 西 大 学 商 学 部 小 井 川 広 志 教 授	マレーシア・デリバティブ市場の拡大とマレーシア・パーム油産業の 相互発展メカニズムの解明	個人	1,000,000
横浜国立大学大学院 国際社会科学研究院 奥 村 綱 雄 教 授	資産選択の期待形成に関する実証研究	個人	1,000,000
学習院大学 国際社会科学部 GARCIA Clemence 准 教 授	革新的な企業における無形資産の識別に関する研究	個人	1,000,000
光産業創成大学院大学 光産業創成研究科 姜 理 恵 准 教 授	アセアン主要国及び日本のクラウドファンディング制度と市場成長の 可能性に関する研究調査	共同	1,000,000
神 戸 大 学 経済経営研究所・佐 藤 愛 リサーチフェロー	付与期間がパフォーマンスに連動する株価連動報酬の効果	個人	1,000,000
(公財)中曾根康弘 世界平和研究所 研究本 主任研究員	高度人材としての外国人留学生:地域経済、大学経営等の観点からの検討を中心に	共同	989,717
大阪大学大学院 国際公共政策研究科 瀧 井 克 也 教 授	共通一次試験導入の長期的効果:経営者教育の視点から	共同	997,000
東京大学大学院 工学系研究科 武 田 史 子 准 教 授	日米金融市場の比較研究:流動性リスクが証券市場に与える影響	共同	1,000,000
立 正 大 学 経 済 学 部 外 木 好 美 専 任 講 師	企業の投資ダイナミクス:R&Dの構造パラメータとMultiple Q	共同	1,000,000
10件			9,986,717円

(五十音順)

◇2017年度研究出版助成

2017年度の研究出版助成は、助成金募集総額5.000.000円 として、証券金融経済分野(証券、金融、財務・会計、企業・ 経営、法律、経済、社会)の研究出版に対し助成すること とし、2017年6月から9月末まで募集を行い、その結果、14 大学から14件、申請金額13.810.000円の応募があり、この うち4件、助成金額3.500,000円の助成金受給者を決定いた しました。

2017年12月21日決定

出版代表者(著者)	研 究 出 版 物 タイトル	出版形態	助成金額
中 央 大 学 経 済 学 部 唐 成 教	高度成長期以降の中国経済と金融	単著	1,000,000
明 治 大 学 商 学 部 名 越 洋 子 教	負債と資本の会計学 一新株予約権・複合金融商品・ストック・オプションの検討(仮)	単著	1,000,000
滋 賀 大 学· 大学院経済学部·二 宮 健 史 郎 経済学研究科教授 副 研 究 科 長	金融不安定性のマクロ動学	単著	500,000
神戸大学大学院 法 学 研 究 科 行 岡 睦 彦 特 命 准 教 授	社債のリストラクチャリング一財務危機における社債権者の意思決定に係る法的規律	単著	1,000,000
4件			3,500,000円

(五十音順)

研究調査助成等の募集要項

2018年度研究調査助成募集要項(概要)

2018年4月

1. 趣旨

この助成金は、学術の研究に従事している者に対し、その研究調査を奨励し、学術の振興を図り、もって社会の発展と福祉に寄与することを目的として給付する。

2. 助成対象

(1) 助成対象者

助成の対象となる者は、以下のとおりとする。

- ① 大学において学術の研究調査に従事している 55歳以下の個人又はグループを対象とする。 なお、グループは複数の研究機関にまたがって もよい。大学院学生は、博士課程又は博士後期 課程に限り共同研究者になることができる。
- ② 証券会社及び金融機関等のグループ並びに民間研究機関の研究者を対象とする。

(2) 助成対象分野

助成の対象となる分野は、証券金融経済分野を対象とする。

(注) 証券金融経済分野とは、証券、金融、財務・会計、企業・経営、法律、経済、社会の各分野とする。

(3) 選定対象期間

本年度10月~翌年9月の研究調査に係る事案とする。

ただし、多年度に及ぶものも対象とする。(この場合には、1年経過毎に中間報告書の提出を条件とする。)

(4) その他

- ① 申請者の所属機関によるオーバーヘッドコスト (管理経費等)は、助成の対象外とする。
- ② パソコン等の購入費用は、助成対象とはしない。
- ③ この助成金は、研究調査に関わる旅費交通費の 金額が書籍、情報データ購入あるいは備品の購 入等の総金額を超えてはならない。

3. 助成金の額等

研究調査1件当たり100万円程度(助成金の総額は 1,000万円)

(1) 申込の期間

2018年4月1日から6月30日(必着)まで

2018年度研究出版助成募集要項(概要)

2018年4月

1. 趣旨

この助成金は、学術の研究に従事している者に対し、その研究調査の成果公表等に係る出版費用の助成を行い、もって学術の振興を図り、社会と福祉に寄与することを目的として給付する。

2. 助成対象

(1) 助成対象者

助成の対象となる者は、以下のとおりとする。

- ① 大学において学術の研究調査に従事している 55歳以下の個人又はグループを対象とする。 なお、グループは複数の研究機関にまたがって もよい。大学院学生は、博士課程又は博士後期 課程に限り共同研究者になることができる。
- ② 証券会社及び金融機関等のグループ並びに民間研究機関の研究者を対象とする。

(2) 助成対象分野

助成の対象となる分野は、証券金融経済分野を対象とする。

(注) 証券金融経済分野とは、証券、金融、財務・会計、企業・経営、法律、経済、社会の各分野とする。

(3) 選定対象期間

当年度の1年間 (4月~3月) に出版を予定する事案とする。

(4) 必須条件

研究が完成しており、完成原稿があるものとする。

3. 助成金の額等

研究出版1件当たり50万円から100万円程度(助成金の総額は500万円)

(1) 申込の期間

2018年6月1日から9月30日(必着)まで

以上

奨学生募集要項

2018年度奨学生募集要項(概要)

2018年4月

1. 奨学金の目的

資質優秀な大学生、大学院学生に対し奨学支援を行 い、将来社会の各分野において指導的役割を担おうとす る人材を育成し、もって社会の発展、福祉に寄与すること にある。

2. 奨学金の特色

- (1) 奨学生の専攻分野は制約しない。
- (2) 奨学金は給与であり、返済の義務はない。
- (3) 奨学生が学業を終了した後の進路は、本人の自由と

3. 応募資格

- (1) 本財団の奨学生となる者は、本財団が指定する大学 又は大学院に在籍し、学業優秀で、心身ともに健康 であり、将来社会的に有益な活動を目指す者であっ て、次のいずれにも該当していなければならない。
 - ① 学資の援助をすることが必要であると認められ る者
 - ② 在籍する大学によって推薦された者
- (2) 応募要件は以下のとおり
 - ① 大学2年次の者
 - (注) 2018年4月1日において22歳以下の者
 - ② 大学院修士課程1年次の者
 - (注1) 2018年4月1日において25歳以下の者
 - (注2)「修士課程 | とは、修士課程、博士前期課 程及び一貫制博士課程の1年次及び2年次 をいう。
 - ③ 専門職学位課程1年次の者 (注1) 2018年4月1日において25歳以下の者

- (注2) 「専門職学位課程」とは、専門職大学院 の課程、法科大学院の課程、教職大学院 の課程をいう。
- ④ 大学院博士課程1年次の者
 - (注1) 2018年4月1日において28歳以下の者
 - (注2)「博士課程」とは、博士課程、博士後期 課程及び一貫制博士課程の3年次から5 年次までをいう。
- 4. 奨学生の採用予定人員 60名

5. 奨学金の額

給与月額

	自宅外通学者	自宅通学者
大学奨学生	45,000 円	35,000 円
大学院奨学生 修士課程	50,000円	40,000円
同 博士課程	55,000円	45,000 円

2018年4月1日から4月30日までの間に在籍する大学 を通して提出してください。

6. 応募期間

2018年4月1日~2018年4月30日

以上

指定推薦大学

応募ができる大学として、以下の30大学を指定しております。

北海道大学、東北大学、筑波大学、東京大学、東京工業大学、お茶の水女子大学、一橋大学、首都大学東京、 慶應義塾大学、上智大学、中央大学、日本大学、法政大学、明治大学、立教大学、早稲田大学、横浜国立大学、 新潟大学、名古屋大学、名古屋市立大学、京都大学、同志社大学、立命館大学、大阪大学、大阪市立大学、関 西大学、関西学院大学、神戸大学、広島大学、九州大学 (北から順)

ちょっとタイムスリップ

~第1回奨学金授与式 1974年(昭和49年)~







寄附者御芳名(2017年4月~)

寄附年月日	御芳	名	区分	金額(万円)	御 趣 旨
2017.5.17	野村證券株式会 氏家 純一 殿	社元会長	個人	100	財団事業の支援
2017.6.15	日本証券奨学財 株式会社ジャフ 伊藤 俊明 殿		個人	100	理事長退任にあたって (財団事業の支援)
2017.9.20	元奨学生 河田 信也 殿		個人	1.2	財団の奨学生事業支援のため
2017.9.25	匿名		法人	50	御財団の育英奨学事業に賛同して
2017.11.10	匿名		個人	1	財団の奨学生事業支援のため
2017.11.22	日本証券奨学財 増田 睦 殿	団元常務理事	個人	50	育英奨学事業の支援のため
2017.11.10 ~ 2017.11.17	証券奨学同友会	•	個人 40名	22	財団の奨学生事業支援のため
2017.12.25	エース証券株式 代表取締役会長		個人	100	叙勲を記念して奨学支援のため
2018.3.15	木村証券株式会 代表取締役会長		個人	100	理事、評議員として25年間にわたる財団活動へ の感謝を記念して、奨学事業発展のため
2018.3.20	匿名		法人	100	御財団の育英奨学事業に賛同して

ご寄附いただいた時の肩書で表記しております。

以上の皆様からご寄附をいただきました。厚くお礼申し上げますとともに、事業資金として大切に活用させていただきます。

ご寄附のお願い

ひとりでも多くの資質優秀な大学生・大学院生を支援して、社会の各分野における指導的役割を担う人物を育成するという財団の目的に賛同していただき、ご 寄附・ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

●お問い合わせ先

日本証券奨学財団事務局

電話: 03-3664-7113 (Fax: 03-3662-1607) E-mail: jssf.office@jssf.or.jp

●お振込先

口座名義:コウエキザイダンホウジン ニホンショウケンショウガクザイダン リジチョウ イナノカズトシ

公益財団法人 日本証券奨学財団 理事長 稲野和利

口座番号:みずほ銀行 兜町証券営業部

普通預金 0510181

ご芳名を本財団の広報誌等に掲載させていただいております。なお、匿名を希望される方はその旨をお申し出ください。

本号の主な内容
●理事長挨拶······1
●2017年度(第43回)奨学生修了式
及び大学事務局との連絡会2
●2017年度奨学生懇談会 4
●奨学生と証券奨学同友会員との懇親会5
●2017年度(第44回)奨学金授与式
及び奨学生推薦大学連絡会6
●2016年度(第42回) 奨学生修了式
●証券奨学同友会の活動10
●証券奨学生の集い(早稲田大学) 11
●ホームページ利用のお願い
●2017年度研究調査助成·研究出版助成 ······· 12
●研究調査助成等の募集要項
●奨学生募集要項14
●寄附者御芳名······15
●事務局だより

2018年度の年間事業予定

年月別	事業内容
2018年4月	・奨学生候補者の推薦大学から 応募受付
5月·6月	・新規採用奨学生の選考・決定
7月	・奨学金授与式及び推薦大学連絡会の 開催
	・研究調査助成金受給者の選定・決定
8月	・証券奨学同友会報の発行
9月・10月	・奨学生懇談会の開催(東京・大阪)
	・証券奨学同友会総会・懇親会の開催
11月	・研究出版助成金受給者の決定
11月・12月	・証券奨学生の集いの開催
2019年3月	・奨学生修了式及び大学事務局との 連絡会の開催

事務局だより

春風が心地よいこの季節、多くの出会いが生まれる季節でもあります。事務局では、新たな奨学生を迎える準 備を、わくわくしながら進めているところです。そして、梅雨が明けの候、晴れて奨学生となる全国の新奨学生 を東京に招いて、奨学金授与式が執り行われます。

この3月に修了した57名の皆さんとは、これからは会員数約3,600名の証券奨学同友会のメンバーとしての末永 いお付き合いが始まります。

懇親会や大学毎の集いの場で、近況や思い出話などを語り合う同友会員の皆さん姿を目にすることは大変喜ば しいことです。

懇親会等の模様は、本誌やホームページ(http://www.jssf.or.jp)の会員専用サイトに掲載しています。今後 の開催予定については、お手元に届く開催通知や、ホームページをご覧いただき、お誘いあわせのうえ、ご参加 いただくことを心よりお待ちいたしております。

制作·発行 **公益財団法人 日本証券奨学財団** 〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町1-5-8 東京証券会館3階 TEL: 03-3664-7113 FAX: 03-3662-1607 URL: http://www.jssf.or.jp